

野村IR 資産運用フェア2019 会社説明会

1 信和とは

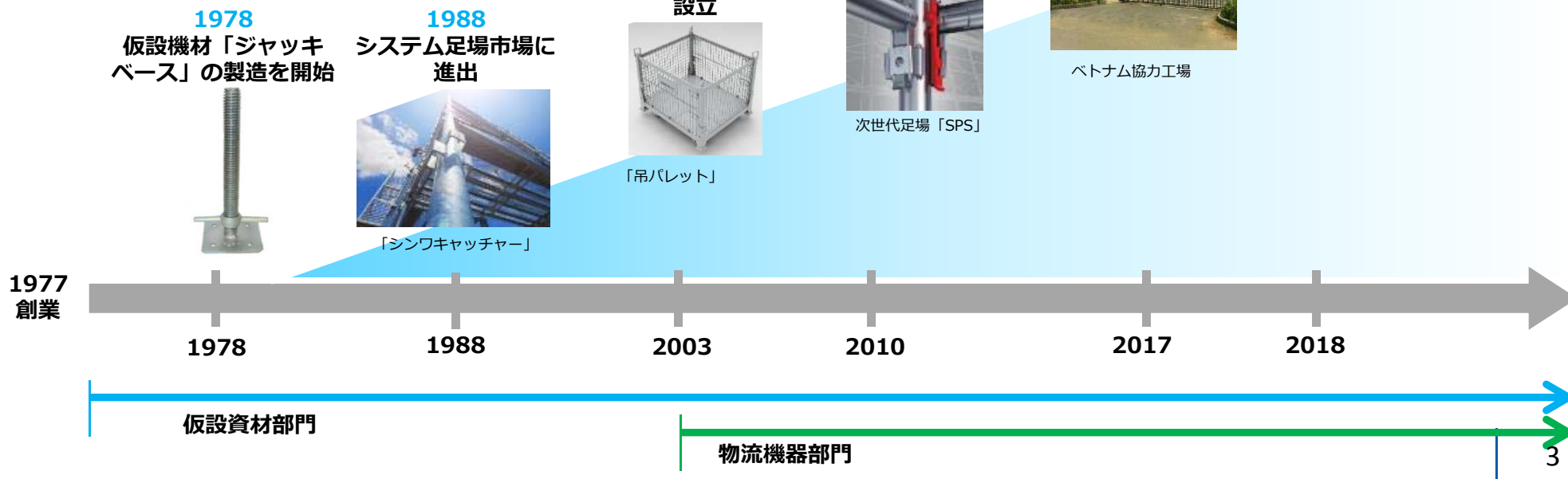
仮設資材の
リーディングカンパニー

システム足場で
国内トップシェア

国内屈指の生産力による
高い対応力と品質

沿革

社名	信和株式会社
本社	〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川30-7
代表者	代表取締役社長 山田 博
創業	1977年 9月
設立	1979年 8月
資本金	150百万円
従業員数	155名 (2019年3月31日現在)
発行株式数	13,988,800株(2019年9月30日現在)



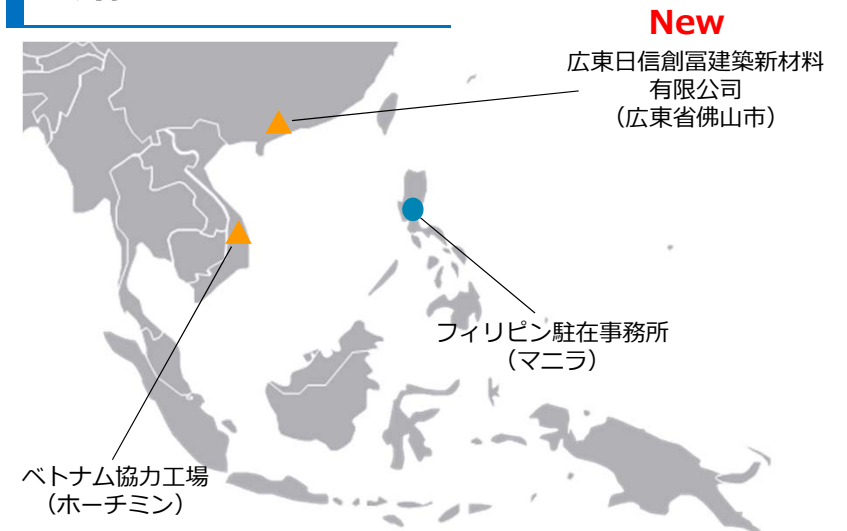
拠点展開

日本国内に11拠点、海外に3拠点を展開。

国内拠点



海外拠点



- …営業拠点
国内6ヶ所・海外1ヶ所
- ▲ …生産拠点・機材センター
国内5ヶ所・海外2ヶ所

事業構成

仮設資材部門

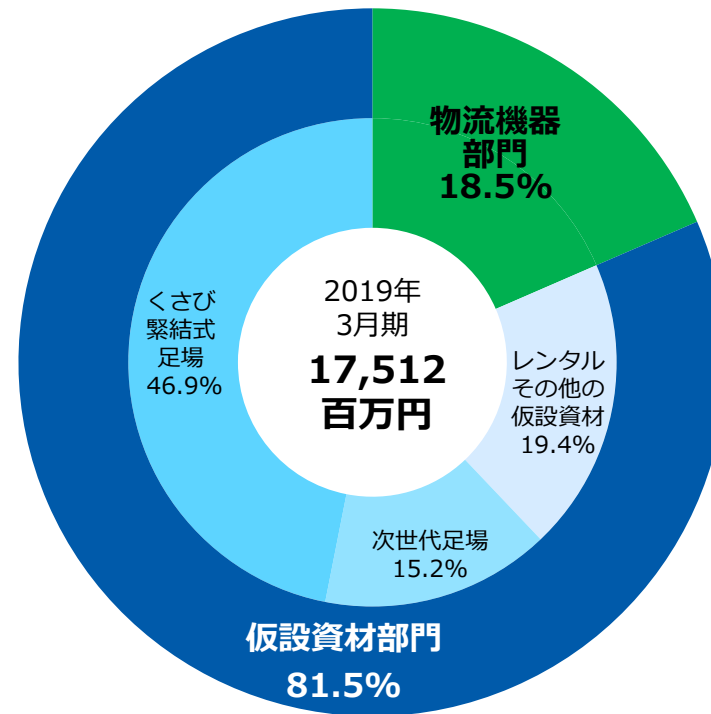
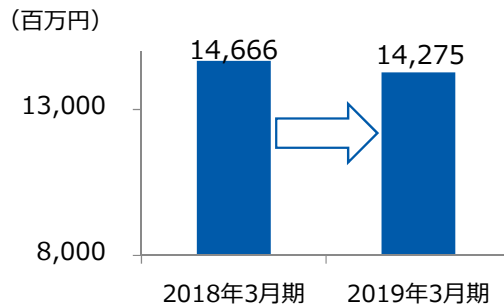
建設現場などで使用される仮設資材の
製造・販売・レンタル

大規模倉庫
屋根成形工事



新東名高速道路
橋脚工事

仮設資材部門の連結売上収益



物流機器部門

工場、倉庫、建設現場等における物品の保管・
搬送等に使用される物流機器の製造・販売



液体搬送用バルクコンテナケージ

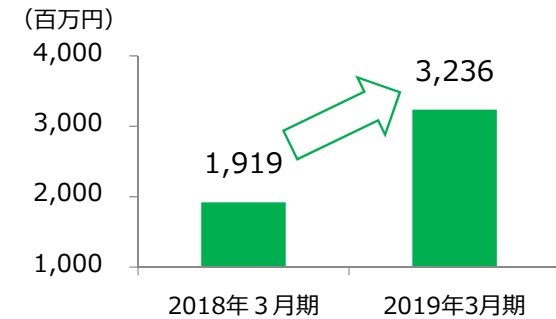


自動車部品用パレット



大規模倉庫用ラック

物流機器部門の連結売上収益



2 システム足場とは

住宅工事



改修工事



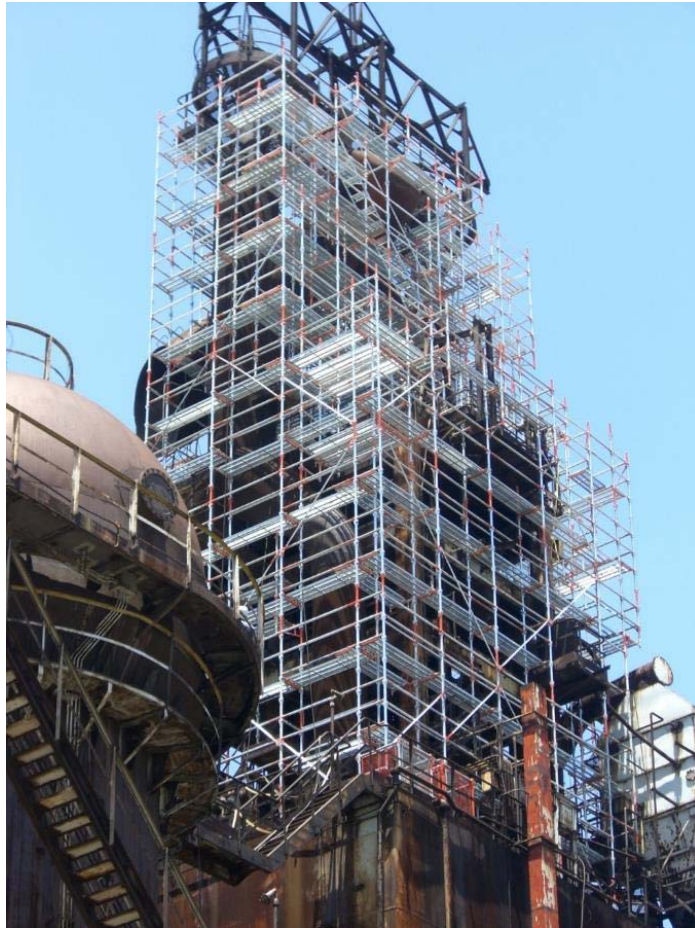
大規模マンション修繕工事

信和株式会社

証券コード 3447



プラントメンテナンス工事



土木工事



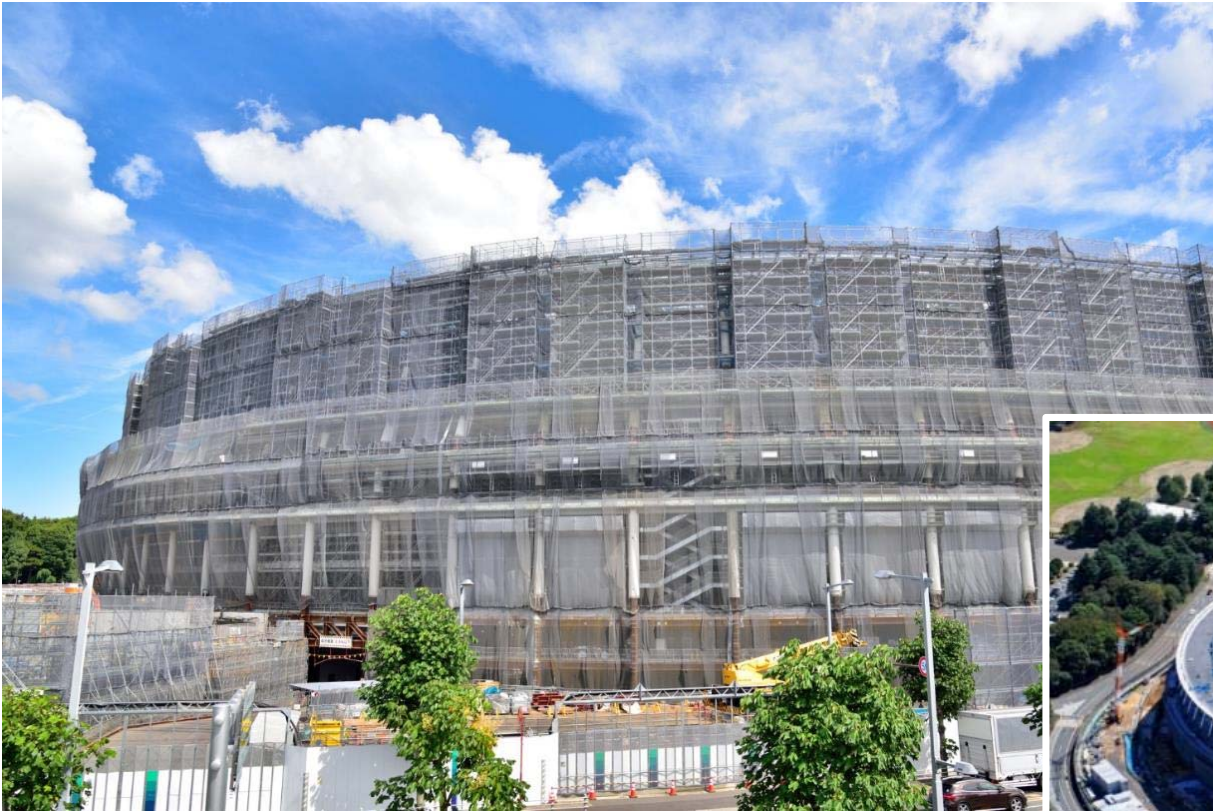
道路新設・補修工事



重要文化財の調査



新国立競技場



システム足場=『建設現場になくてはならないもの』

信和株式会社

証券コード 3447



システム足場
販売シェア
No.1

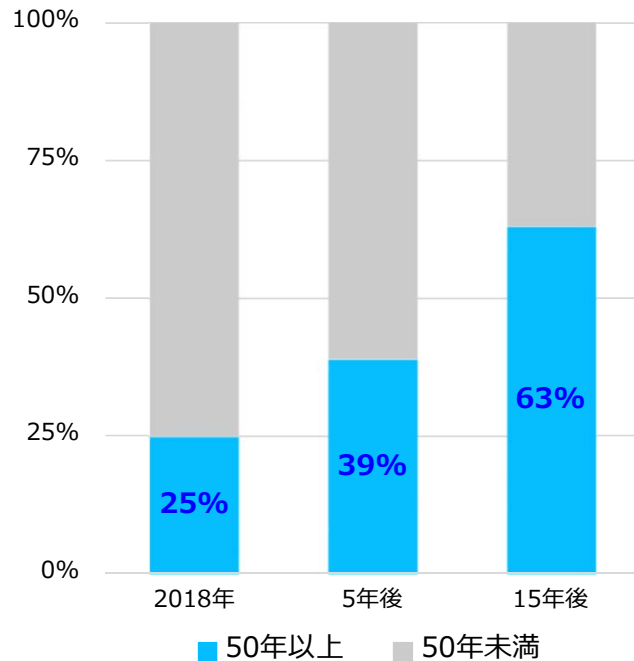
2018年度出荷金額ベース・自社調査

仮設資材部門の事業環境(1)

インフラの戦略的な維持管理・更新等の推進

建設後50年以上経過する社会資本の割合

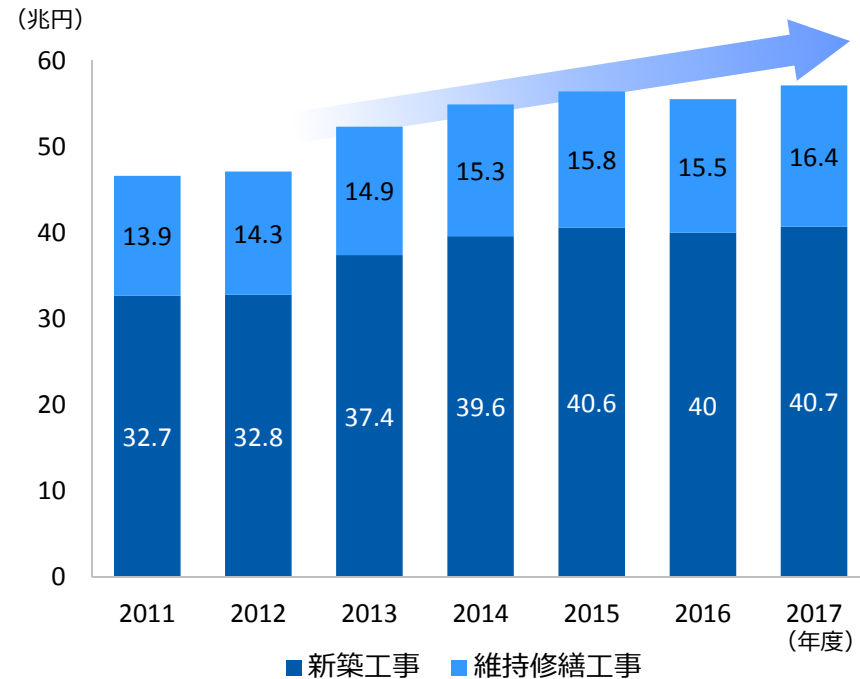
道路橋 [約40万橋※ (橋長2m以上の橋約70万橋のうち)]
2033年には約25万橋が建設後50年以上経過に



※建設年度不明橋梁の約30万橋については、割合の算出にあたり除いている
 出典：一般社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2019」より

建設投資：新設工事と維持修繕工事の推移

**「インフラ長寿化計画」により、
 新設・維持修繕ともに増加傾向**



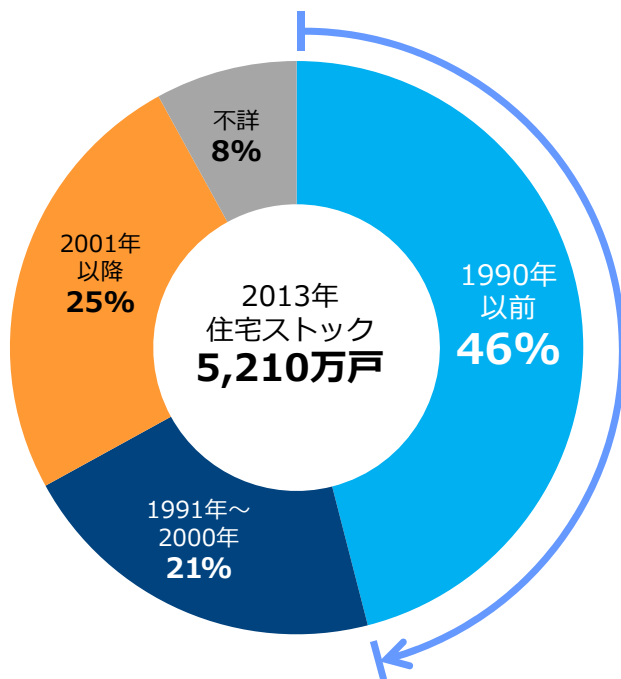
出典：一般社団法人日本建設業連合会「建設業ハンドブック2019」より

仮設資材部門の事業環境(2)

建設後30年以上を迎えた住宅のリフォーム需要の拡大が見込まれる

建築時期別 居住世帯のある住宅数

1990年以前に建築された住宅が
46% (2,385万戸) を占める

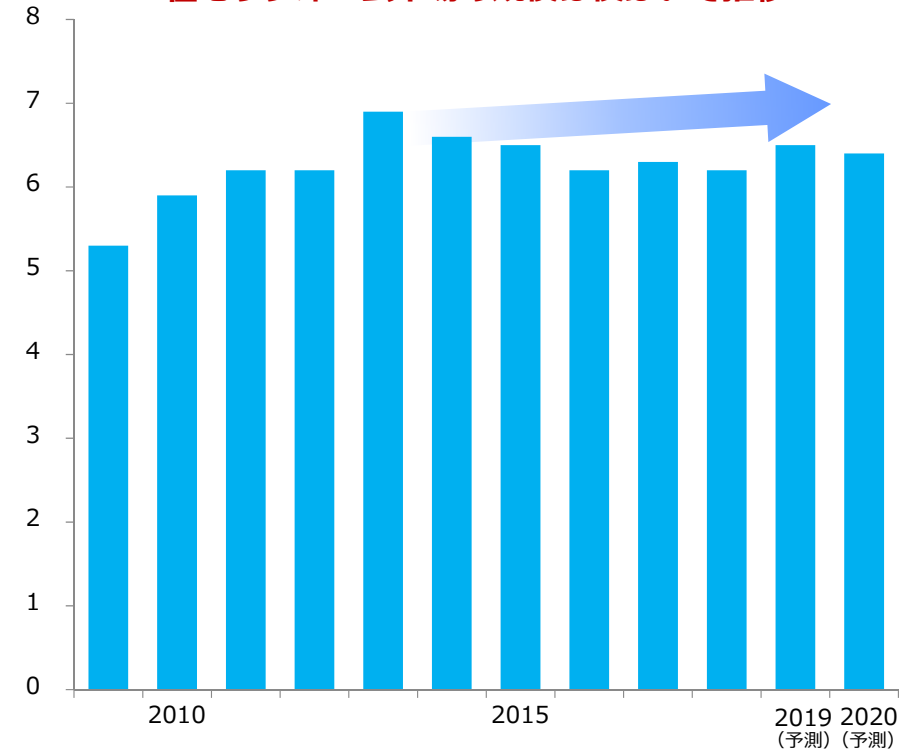


出典：総務省「平成25年住宅・土地統計調査」より

住宅リフォーム市場の市場規模予測

(兆円)

住宅リフォーム市場の規模は横ばいで推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査」、総務省「家計調査年報」、総務省「住民基本台帳」、
国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計 (全国推計)」をもとに
矢野経済研究所推計 (2019年7月8日推計)

3 国内屈指の製造力

製造拠点



敷地面積 40,642m²

多品種対応、スピードで立ち上げ
国内屈指の生産能力を誇る

原材料の調達コストや
外注コストを低減

顧客の受注に
柔軟に対応

10トントラック

溶接ロボット数

約 **4,730** 台分
(2018年度)

136 台
(2019年5月8日現在)



4

物流機器部門に ついて

物流機器部門の拡大

幅広い業種に展開し更なる成長を目指す

エンジン、
トランスミッション等の
搬送用パレット



ガラス搬送用パレット
機能性フィルムパレット



樹脂原料搬送用パレット
液体搬送バルクコンテナケージ

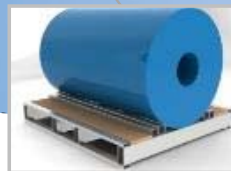


物流・
倉庫

電機・
精密

化学

輸送
機器



自動倉庫用パレット
大規模倉庫用ラック



農業・
水産



人工光型植物工場向け多段棚の
開発・販売

Panasonic
ideas for life

【化学】液体搬送用バルクコンテナ



(イメージ)

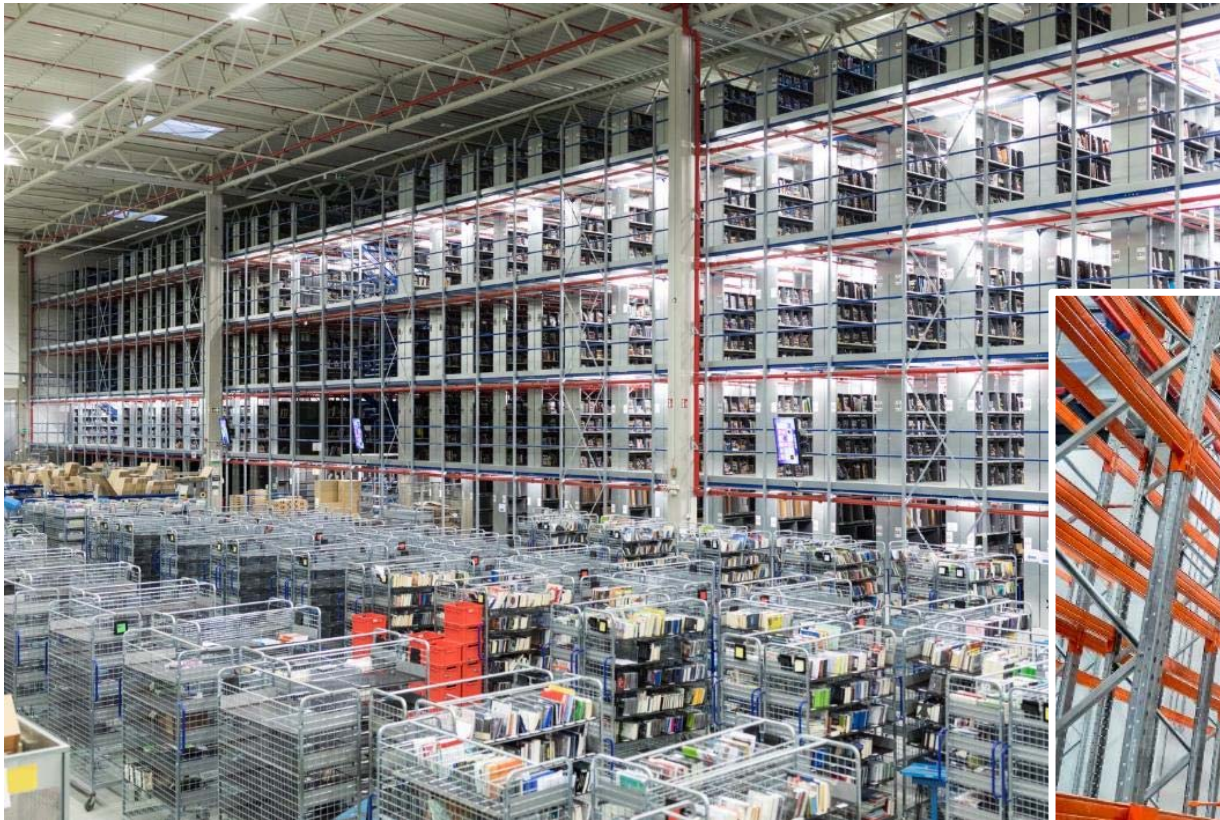


ドラム缶4本分のスペースに
ドラム缶5本分の容量を充填可能

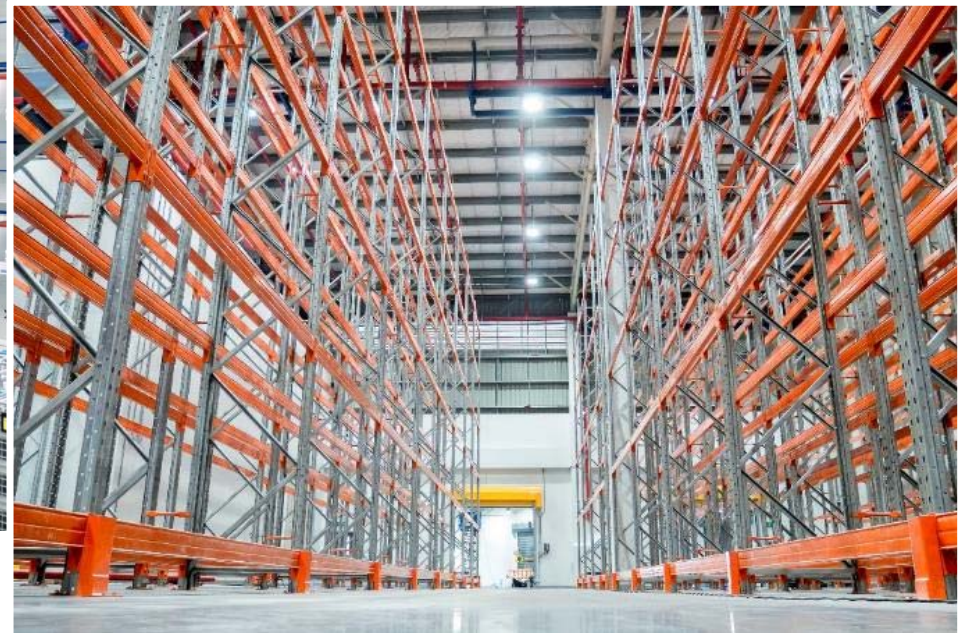
【物流倉庫】 Eコマース企業向け倉庫ラック

信和株式会社

証券コード 3447



(イメージ)



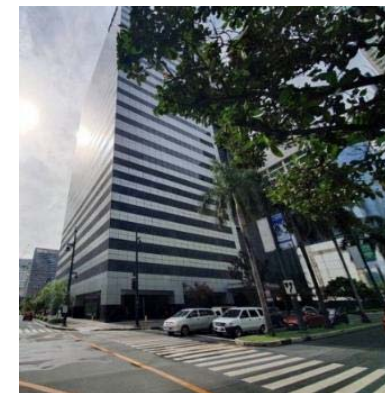
5 海外展開

海外展開 – これまでの取り組み



フィリピン

- 2017年6月に
駐在事務所設立
- 現地のエレベーター
据付工事トップシェア
企業への販売実績



ベトナム

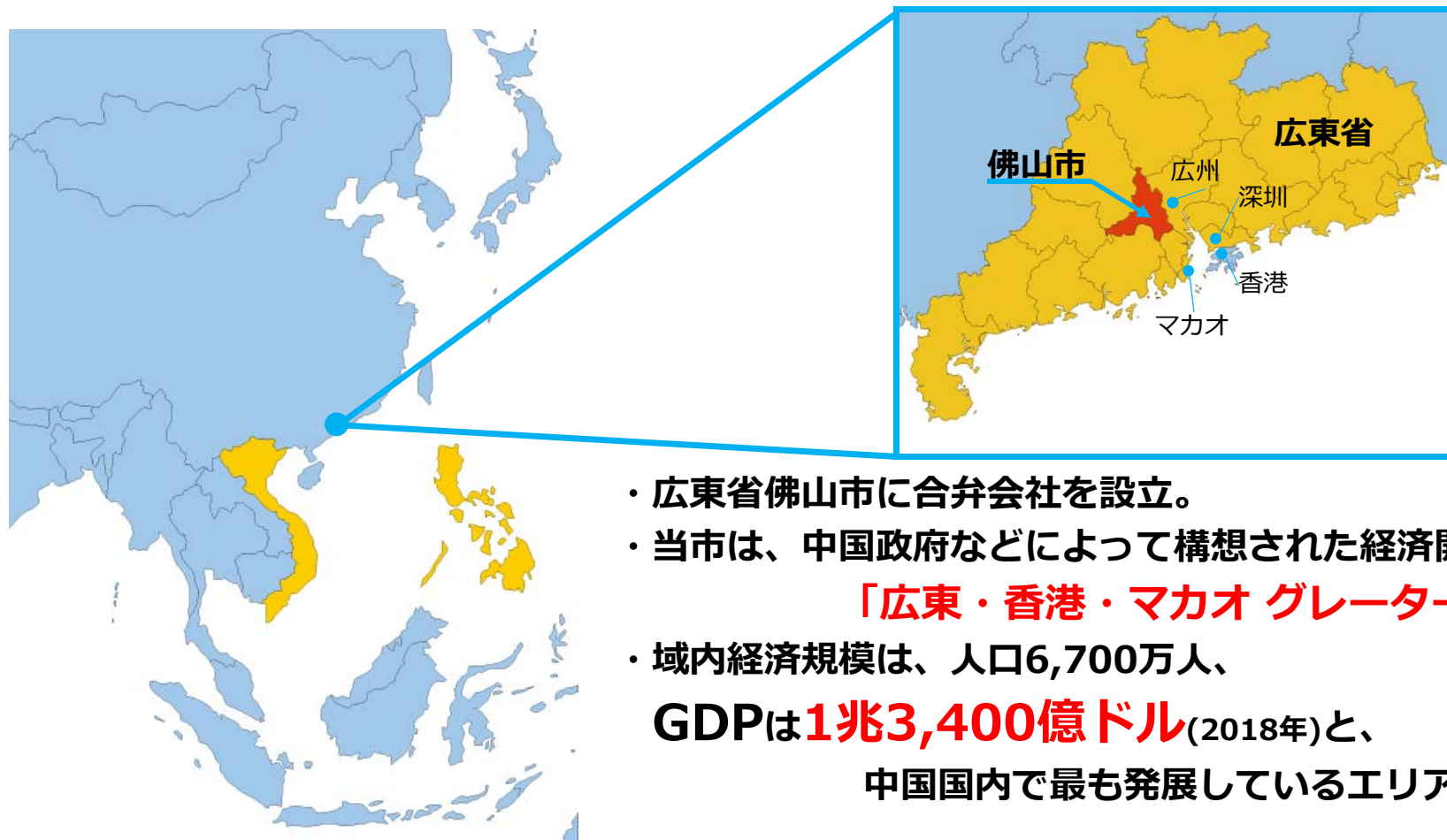
- 2017年10月に
協力工場を立ち上げ
- 日本基準・日本品質の
システム足場の製造開始



**施工性・耐久性・安全性に優れた製品の
販売・レンタル事業の拡大に向けて体制を強化**

海外展開－合併会社の設立

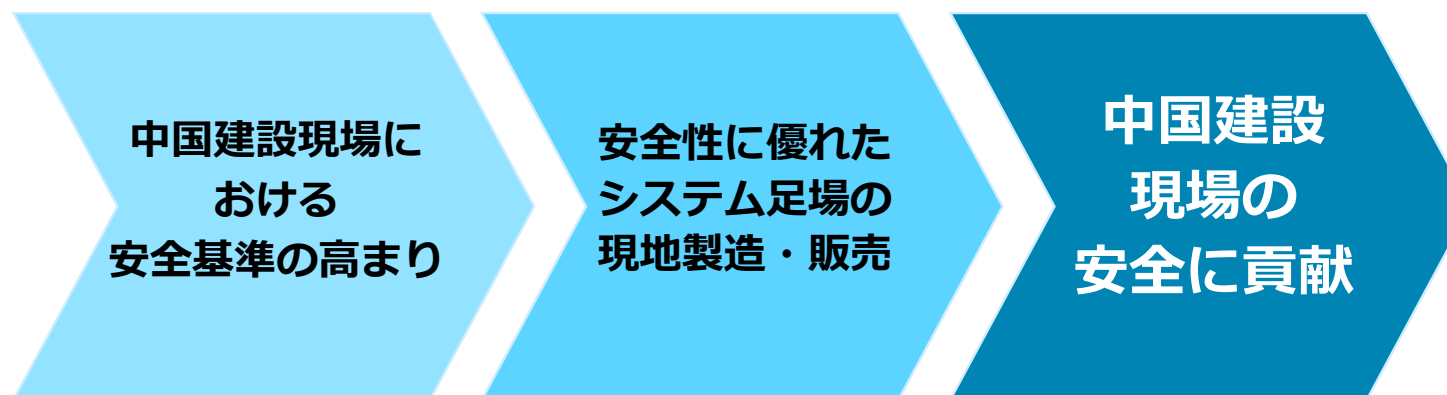
2019年11月5日「広東日信創富建築新材料有限公司」設立



- ・ 広東省佛山市に合併会社を設立。
- ・ 当市は、中国政府などによって構想された経済開発促進地域
「広東・香港・マカオ グレーターベイエリア」
- ・ 域内経済規模は、人口6,700万人、
GDPは1兆3,400億ドル(2018年)と、
中国国内で最も発展しているエリアのひとつ。

中国合併会社の概要

商号	広東日信創富建築新材料有限公司	登録資本金	2,500万人民元 (円換算額：約4億円)
代表者	則武 栗夫 (当社 取締役副社長)	株主者 及び 出資比率	信和株式会社 51.0%
所在地	広東省佛山市		広東創富金属製造有限公司 34.0%
設立年月日	2019年11月5日		アルコニックス株式会社 15.0%
事業内容	建設用仮設資材の輸入・製造・販売		



『私たちは製品・サービスを通じて大切な命を守ります』
この理念を、海外でも展開していく

6

2020年3月期
第2四半期 決算概要

決算ハイライト

売上収益

9,370百万円 (前年同期比+ 8.7%)

- 第1四半期に引き続き仮設資材部門の増収が続き、前年同期比増収

売上総利益

2,307百万円 (前年同期比+17.9%)

- 原材料価格の低減活動が功を奏し、想定内に抑制

営業利益

1,222百万円 (前年同期比+21.7%)

- 発送配達費の高騰や、外形標準課税の増加に伴う
- 租税公課の増加を、売上総利益が吸収し前年同期比、増益

親会社の所有者に 帰属する 四半期利益

814百万円 (前年同期比+29.9%)

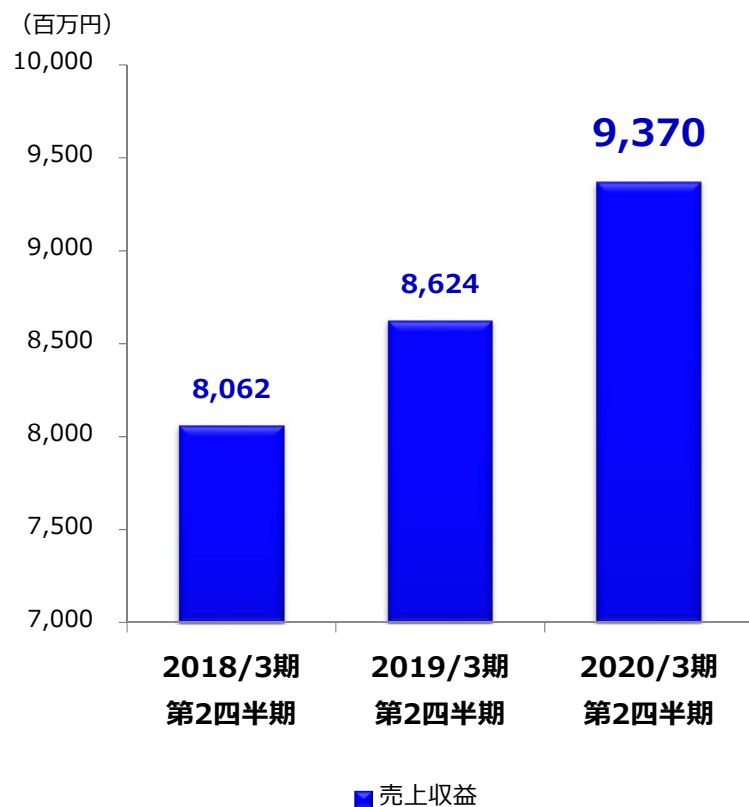
- 前年同期比、増益

売上高・売上総利益の状況

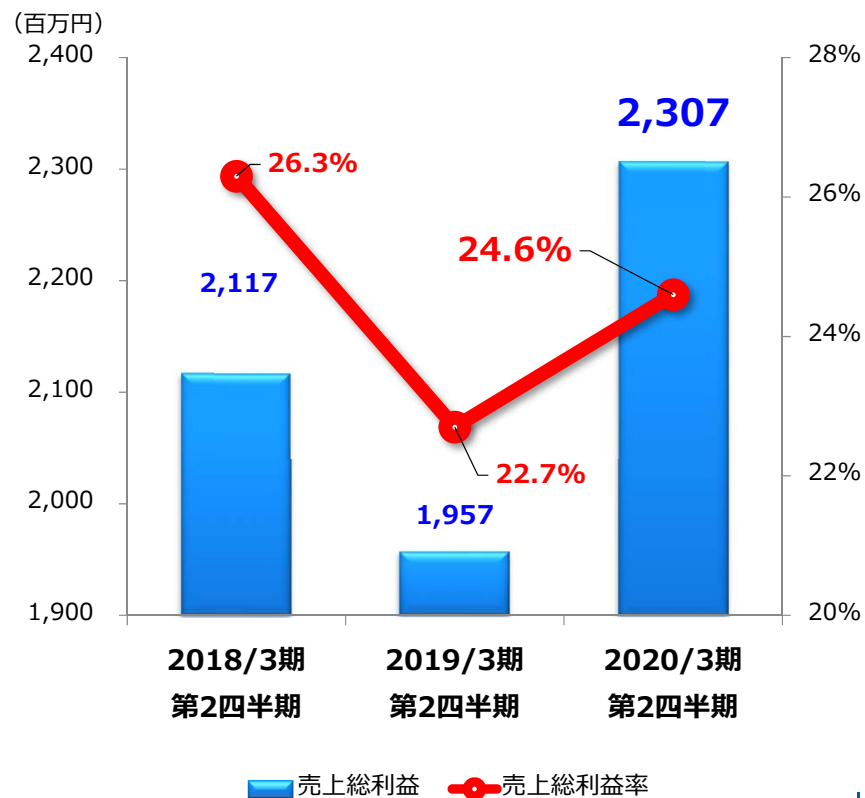
売上収益は、仮設資材部門が業績を牽引し過去最高を更新

売上総利益は、幅広い原材料の調達ルートを活用や、継続的な販売価格の見直しにより回復

売上収益



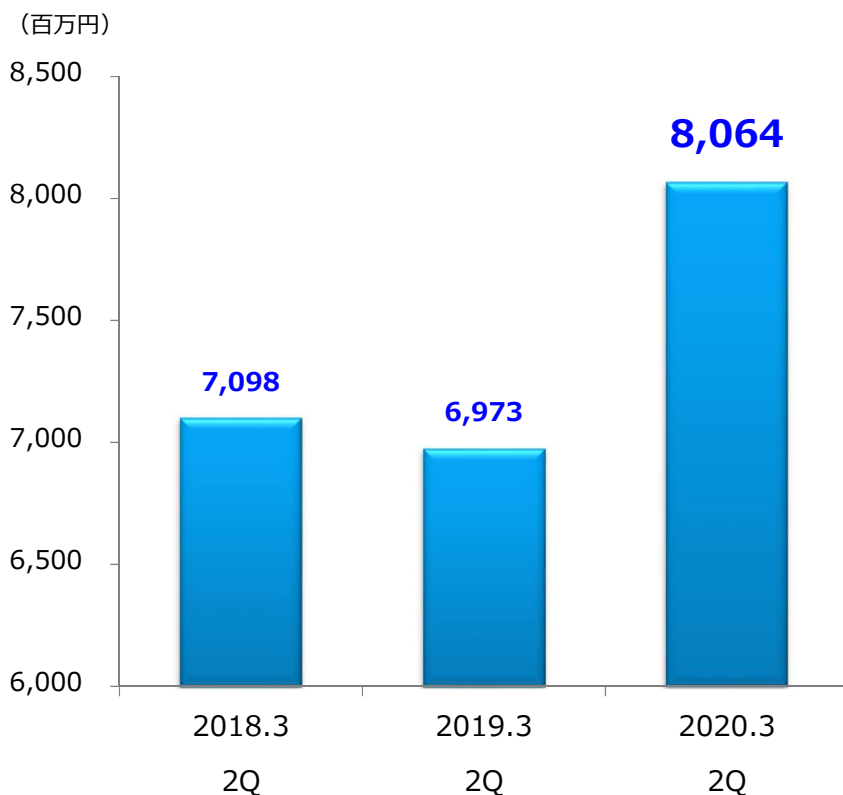
売上総利益・売上総利益率



部門別の状況 仮設資材部門

仮設資材部門における売上収益の前年同期比は **+15.6%**増収

仮設資材部門の売上収益



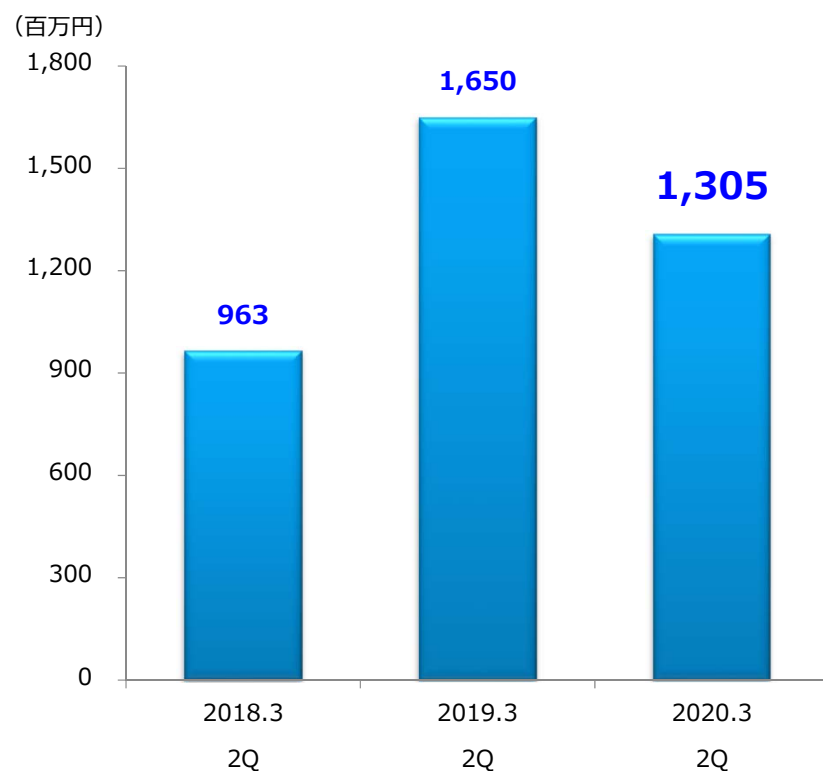
- **オリンピック工事収束、工事案件が地方にシフト**
- **災害復興需要への対応**

- くさび緊結式足場を中心に需要が堅調に推移
- 地方での次世代足場拡販に向けた営業活動を継続

部門別の状況 物流機器部門

物流機器部門は、物流倉庫向け大型案件の完成工事時期のズレにより減収

物流機器部門の売上収益

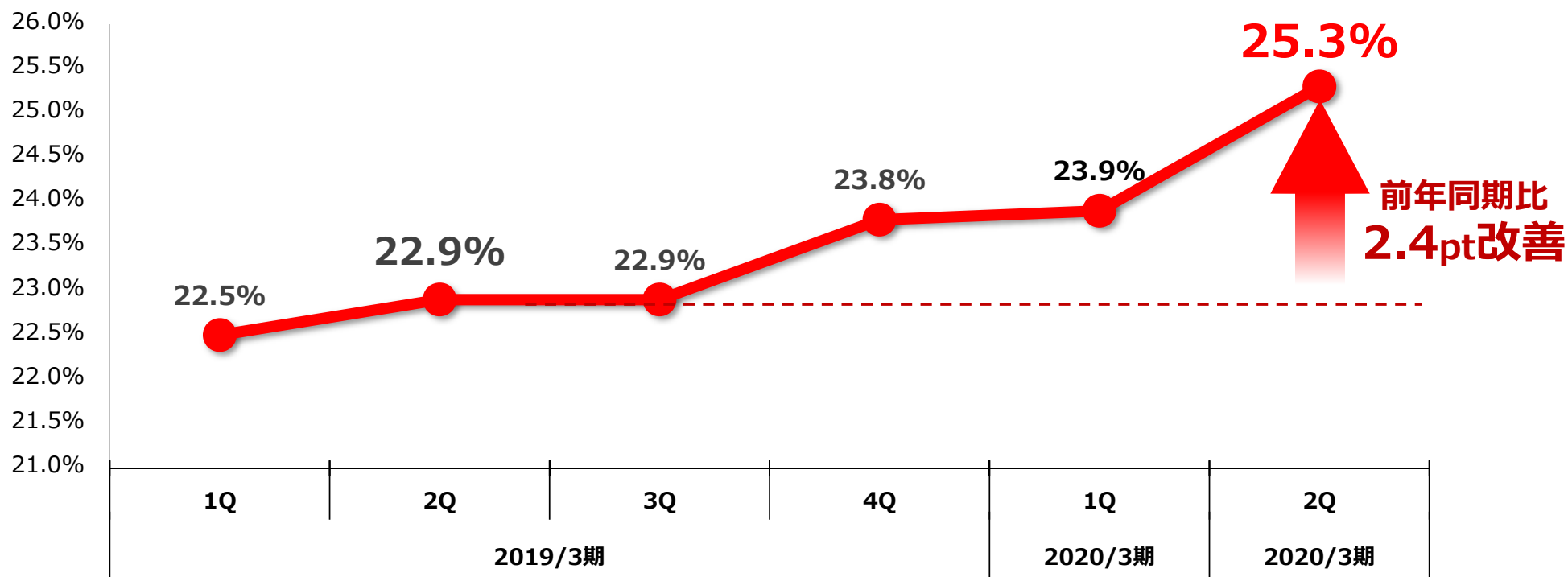


- 見通しどおり、大型物流倉庫向け案件が減少し売上収益を押し下げた
- その他の受注案件は堅調に獲得続く

売上総利益率の推移

原価低減活動や合理化努力により2020年3月期は**25.3%**となり、2.4pt改善

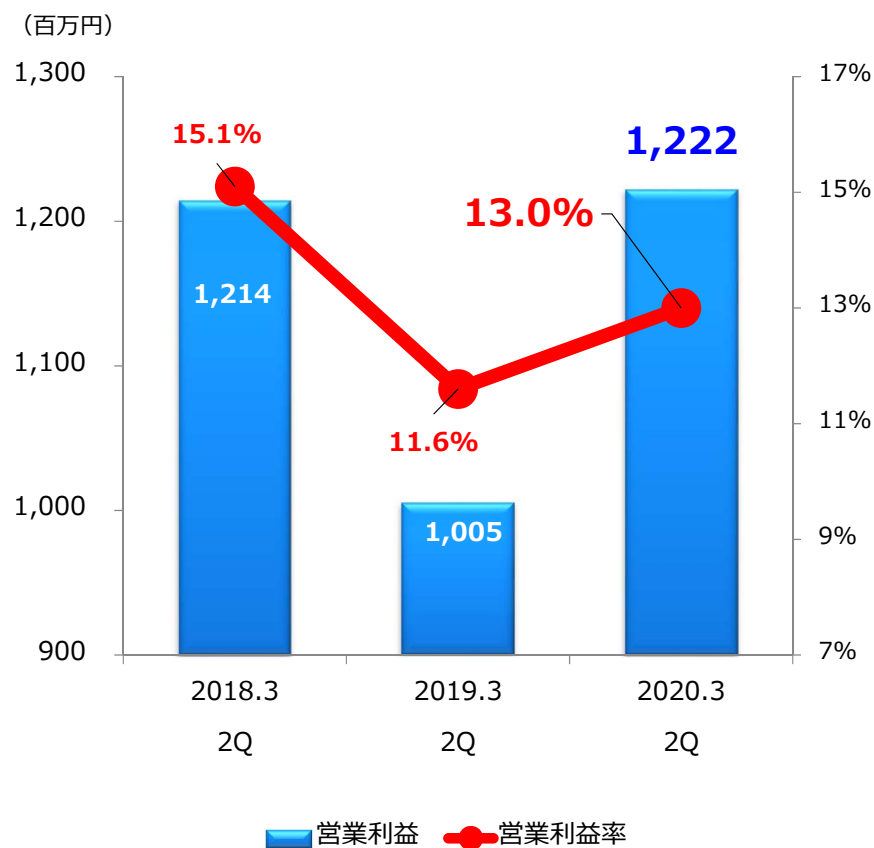
四半期ごとの売上総利益率の推移



営業利益の推移

営業利益は前年同期比**+21.7%**増益、営業利益率は+1.4pt改善の**13.0%**

営業利益・営業利益率



<プラス要因>

仮設資材部門の売り上げ増加や
売上原価の抑制により
売上総利益が増加

<マイナス要因>

人件費や発送配達費の増加による
販管費の増加

7

2020年3月期 業績見通し

2020年3月期 業績見通しに対する進捗状況

2020/03期第2四半期の進捗は**堅調に推移**

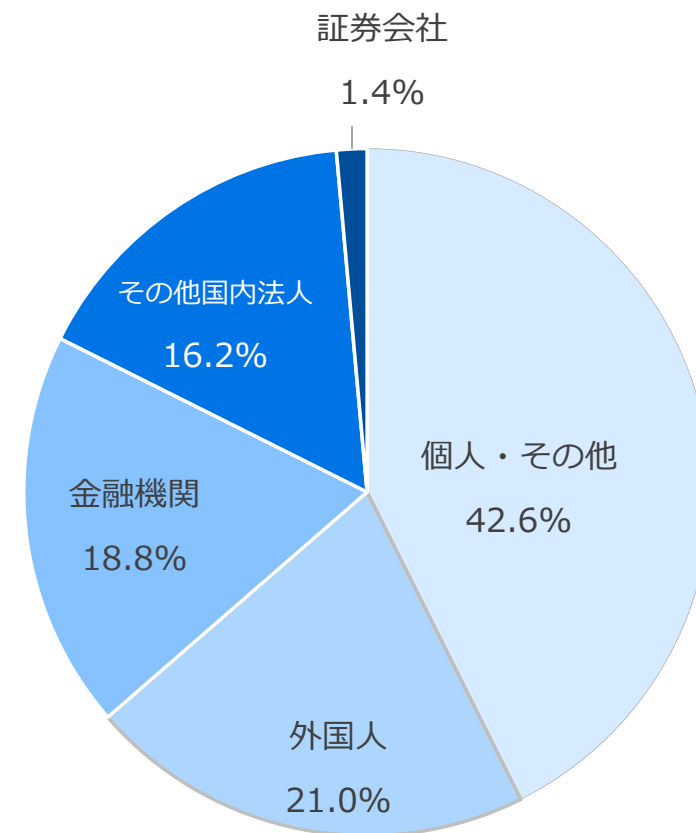
(IFRS基準、百万円)	2020/03期 通期 業績見通し	2020/03期 第2四半期 実績	業績見通しの 進捗率
売上収益	17,000	9,370	55.1%
営業利益	2,060	1,222	59.3%
税引前利益	1,990	1,186	59.6%
当期利益	1,440	814	56.5%

8 株式と株主還元

株主構成

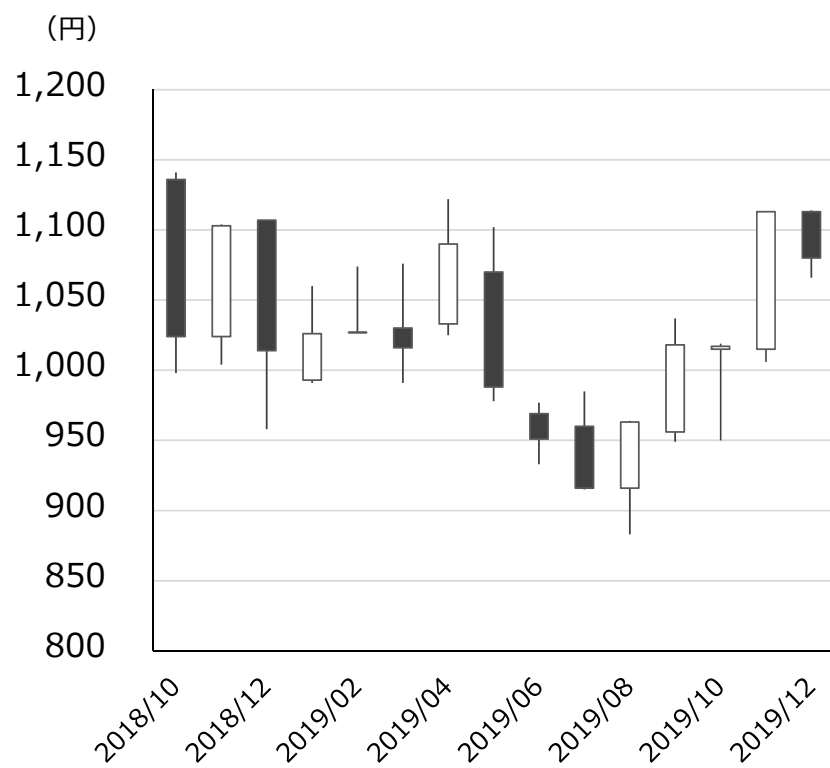
区分	株主数	株主数比率	株式数(千株)	株式数比率
個人・その他	12,519	98.2%	5,961	42.6%
政府・地方公共団体	0	0.0%	0	0.0%
金融機関	15	0.1%	2,623	18.8%
その他 国内法人	143	1.1%	2,264	16.2%
外国人	49	0.4%	2,939	21.0%
証券会社	27	0.2%	199	1.4%
合計	12,753	100.0%	13,988	100.00%

(2019年9月末現在)

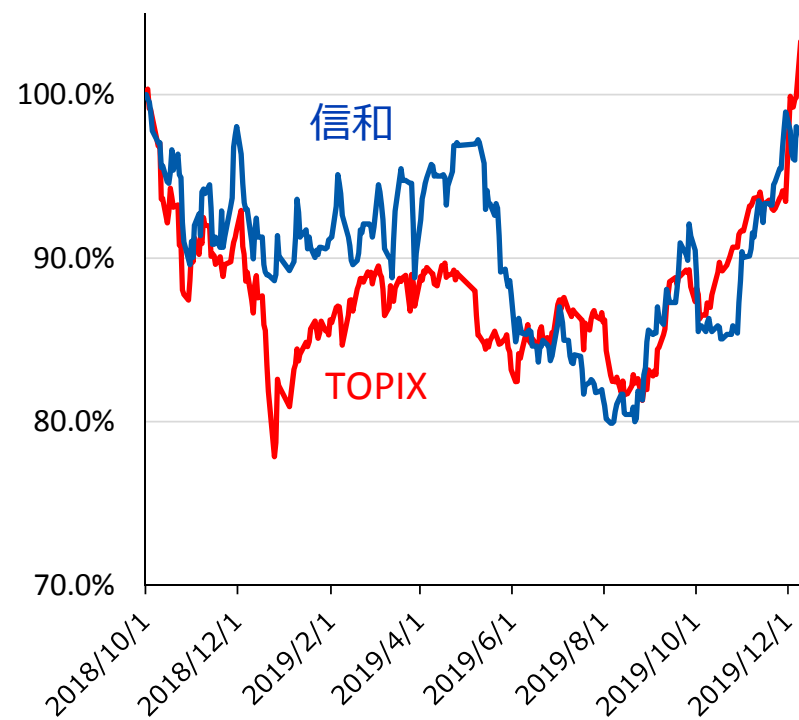


株価の推移

株価推移(月足)



TOPIXとの比較



配当政策

当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な課題の1つとして位置付けております。

配当について

基本方針

当社は、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針とし

**配当性向
40%以上**

を目標に実施してまいります。

2020年3月期の予定

2020年3月末の株主様に対し、期末配当金

1株につき **44.0円**

(配当性向44.0%)

内部留保資金の使途

内部留保資金につきましては、財務体質の強化を図るとともに、一層の事業拡大を目指すための設備投資や人材育成など、有効な投資資金として活用し、企業価値の向上に努める考えであります。

設備投資

人材育成

財務基盤強化

企業価値の向上

ご清聴ありがとうございました

信和株式会社

証券コード 3447

証券コード 3447	創業 42 年	2019 年 3 月 東証1部上場
売上構成 (2019/3期) 仮設 8 : 物流 2	溶接ロボット (2019/5現在) 136 台	年間製造量 (2019/3期) 47,300 トン
9 期連続増収 (2019/3期)	営業利益率 (2020/3期中間) 13.0%	ROE (2019/3期) 10.7%
システム足場 シェア No.1 <small>2018年度出荷金額ベース・自社調べ</small>	1株あたり配当 (2019/3期) 44 円	配当性向 40% 以上 目標

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

《お問い合わせ先》

信和株式会社：岐阜県海津市平田町仏師川30-7

部署：経営企画部

担当：丹羽・青木

TEL：0584-66-4436

e-mail：ir@shinwa-jp.com